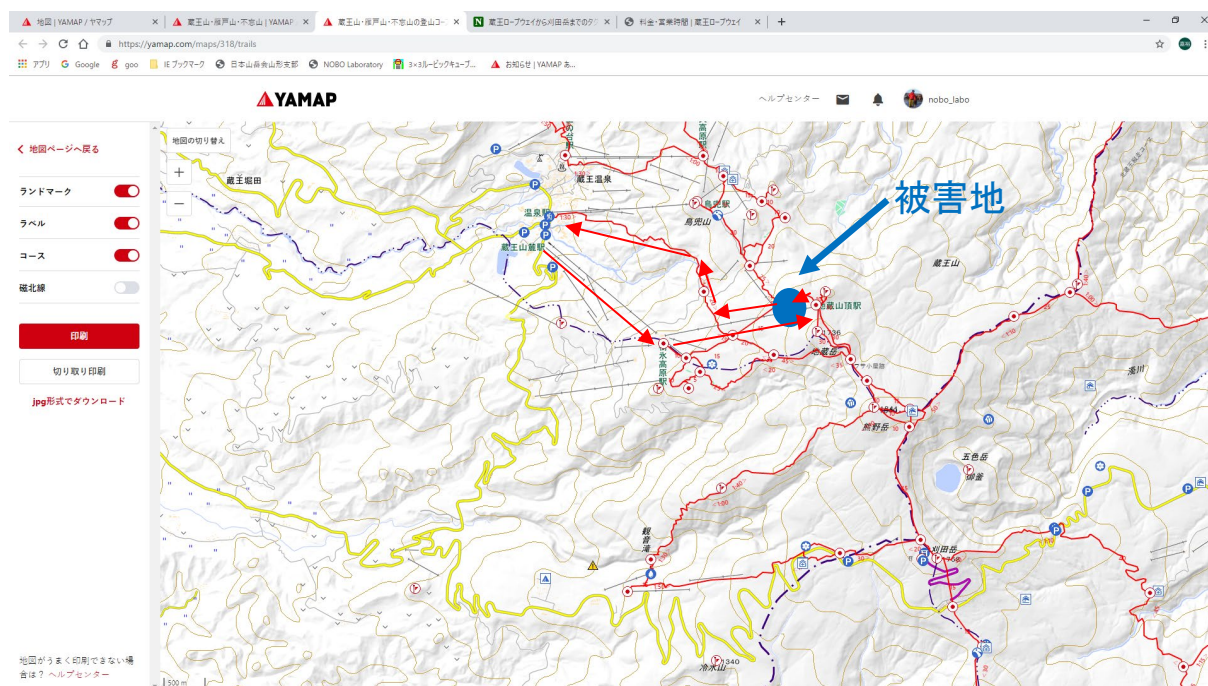


公益社団法人日本山岳会山形支部 山行計画書

—蔵王山害虫被害調査山行—

1. 場所: 蔵王山系地蔵山ザンゲ坂周辺
2. 日程: 2023年5月20日(土曜日)
3. 目的: 蔵王山系で発生している害虫被害後の将来展望を考察する。
4. 調査概要: 既に研究機関等で被害木の樹齢構成調査や被害地の面的調査が進んでるので、樹氷原が維持されるのかどうかに焦点をあてて、被害地の林床に天然更新木が存在するのか否かを探る。(調査時間は1時間30分程度)
5. 集合場所と時間: 蔵王ロープウェイ山麓駅 午前10時00分
6. 行程: 蔵王ロープウェイ山麓駅/打合せ(10:30 発) → 樹氷高原駅(乗り継ぎ) → 地蔵山頂駅(11:00 着・発) → 三宝荒神山(11:30 着)/被害地遠望/昼食 → ザンゲ坂(12:30 着)/被害地調査 → 被害地発(14:00) → 樹氷高原駅 → 蔵王温泉(15:00 着)/温泉入浴後解散
7. 参加者: 13名(予定)
8. 役割分担: CL・指導(N)、記録(S)、登山届など(事務局)
9. 備考: 昼食は各自持参すること。
10. 費用見積(1人分): 蔵王ロープウェイ山麓線・山頂線(片道1,800円)、温泉入浴費用は各自支出のこと。
11. 保険: 保険は各自でお願いします。
12. 行程の概要: 以下のとおり。



※. 注意点: 調査地周辺のササヤブにはマダニが生息している。襟元や手首から侵入して噛まれないように注意すること。

蔵王山害虫被害調査登山 調査概要

1. 被害実態

蔵王山系で 2013 年から発生が確認されている害虫被害は、諸機関で実態調査や原因調査が進められており、被害メカニズムや被害の拡大様式などが解明されつつある。写真1 2018 年 3 月に筆者がドローンで撮影したものであるが、被害域は一定の標高以上で発生しており、図1に示すように年ごとに山頂付近の高標高域から次第に低標高域に拡大している様子がわかる。このような被害形態は刈田岳周辺でも類似しているようだ。

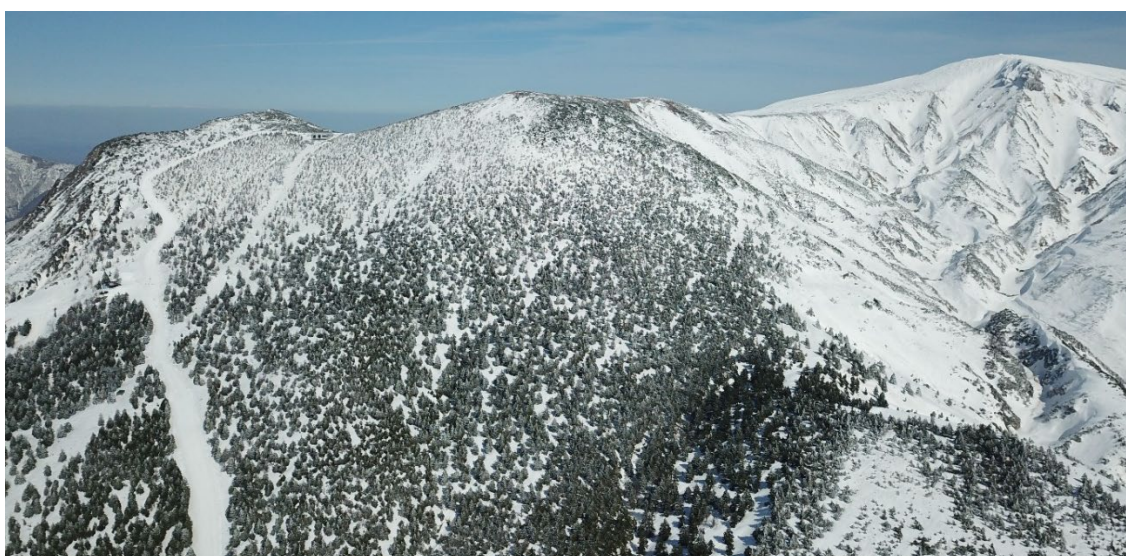


写真1 樹氷原のドローンによる空撮写真(2018年3月20日撮影)

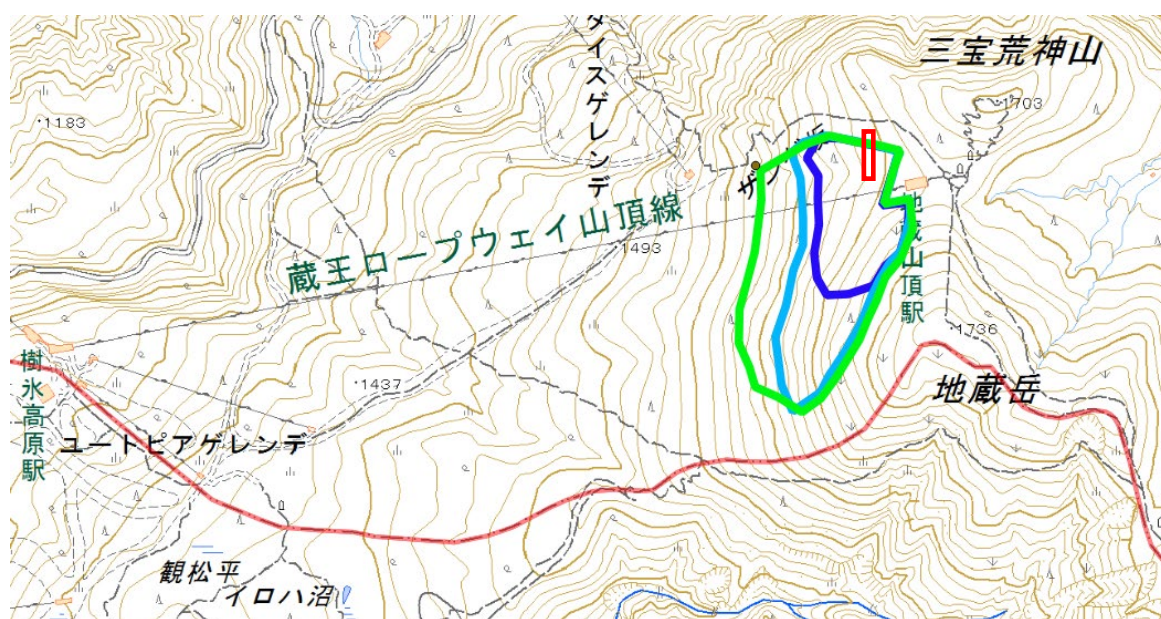


図1 被害域拡大の様子

注:紫色の線 2015年、水色 2017年、緑色 2018年の被害域

3. 想定されるOutput

下のような3次元図を複数作成することを目標とします。



注:この図はモンゴル北西部のトウヒとカラマツ混交林の実態です。

4. 蔵王山害虫被害調査登山調査用具リスト

- GPS+電池(単三×4)(N)
- コンベックス(各自持参)
- 樹高測定用ポール×4本(N2本:山大研から借用+庄農から2本)
- 30m 巻尺×1(N)
- 直径巻尺×1(N:山大研から借用)
- カメラ(記録担当:スマホで可)
- FW 野帳 10 枚(200 本分)+画番(N)
- ドローン(電池×4)+コントローラー+ディスプレイ(N)